

報道関係者各位

2020年10月1日(木)  
株式会社明電舎

## 危機管理体制の構築を全社員で推進 「BCAO アワード 2019」優秀実践賞を受賞しました

株式会社明電舎（取締役社長 三井田 健／東京都品川区、以下明電舎）は、この度「BCAO アワード 2019」（主催：特定非営利活動法人 事業継続推進機構、以下BCAO※1）の事業継続部門において、優秀実践賞を受賞しました。当社の受賞は今回が初めてとなります。

本賞は、日本の事業継続の普及に資するため、その普及、実践等に貢献した個人・団体を表彰する制度で、2006年に創設され、今回が14回目の開催となります。

明電グループでは、2018年から全事業部の事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）策定と事業継続マネジメント（BCM：Business Continuity Management）体制の構築に着手してまいりました。

危機管理体制の構築を全役員・社員で推進するという方針のもと、事業継続の視点で経営課題を抽出し、危機的状況をシミュレーションする訓練やこれらを担う人財の育成を目的としたBCP策定ワークショップなどの教育を実施することで、全社展開による理解と自主性の醸成などの意識改革を図った点などを高く評価いただき、今回の受賞となりました。

### 優秀実践賞



#### 株式会社明電舎 殿

「日本の社会インフラを支える企業としての  
事業継続体制確立に向けた取り組み」

#### <選考理由>

日本の電機、鉄道、水道を支えるメーカーである同社は、大規模災害の頻発の中で危機感を深めた経営層の決定で、2018年から全事業部のBCP策定・BCM体制の構築に着手した。全役員・社員で推進する方針のもと、事業継続の視点で経営課題を抽出し、教育の実施により全社展開の理解と自主性の醸成などの意識改革を図った。必要な設備・備品の導入、全社及び地区の災害対策本部訓練、災害時情報共有システムの導入、主要協力会社へのBCP研修などを実施している。現時点では全部門・全社のBCPは完成前であるが、取り組みを公表して参考に供することとともに、必ず完成させる意思を示したことは評価できる。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構  
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)

Copyright © 2014 BCAA

9月29日 リモート表彰式（右：明電舎 人事・総務本部 総務部 沖山）



明電グループは電気・鉄道・水道など重要な社会インフラを支えるメーカーとして、製品・サービスの提供によりお客様の事業基盤を守ることはもとより、有事の際においても当社事業の実効性を維持し、社会に貢献していくため、今後もBCP・BCMの構築・運用・改善を継続的に取り組んでまいります。

■ 明電グループのBCP策定・BCM体制についてはこちらをご参照ください。

<https://meidensha.disclosure.site/ja/themes/103>

※1 国内外の個人及び企業、政府その他の団体に対して、災害、事故、事件、感染症等のリスク発生時における事業継続の取組みの推進に資する事業を行っている組織です。